

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●C.ルメール騎手がJRA年間100勝を達成

7月4日(日)の1回函館2日・第11レースとして行われた巴賞ではサトノエルドールが1着となり、同馬に騎乗したクリストフルメール騎手(栗東・フリー)は、7年連続7回目となるJRA年間100勝を達成しました。7月4日でのJRA年間100勝到達は、自身最速の記録となります。

●小倉で芝1800m、芝1200mの中央競馬レコード更新

7月3日(土)の3回小倉1日・第3レースではエスコウラ(牡3歳/栗東・中内田充正厩舎)が1分43秒8のタイムで勝利しました。これは2014年都大路S(京都)でグランデツァが記録した1分43秒9を更新する3歳以上・芝1800mの中央競馬レコードタイムとなります。また第10レースの戸畑特別ではプリモダルク(牝4歳/栗東・藤原英昭厩舎)が1分6秒4のタイムで勝利。1999年北九州短距離S(小倉)でアグネスワールドが記録した1分6秒5を更新する3歳以上・芝1200mの中央競馬レコードタイムとなりましたが、翌4日(日)の3回小倉2日・第11レースとして行われたCBC賞(GⅢ)では、ファストフォース(牡5歳/栗東・西村真幸厩舎)が1分6秒0をマーク。プリモダルクのタイムをさらに0.4秒更新しました。

●チュウワウイザードが故障

2020年チャンピオンズC(GⅠ)などの勝ち馬チュウワウイザード(牡6歳/栗東・大久保龍志厩舎)は、右第1指骨剥離骨折を発症していることが判明しました。今後3か月以上の休養を要する見込みです。

●ダノンプレミアムとトラストの競走馬登録抹消

2017年朝日杯フューチャリティS(GⅠ)などの勝ち馬ダノンプレミアム(牡6歳/栗東・中内田充正厩舎/JRA通算13戦6勝・海外2戦0勝)は、7月1日(木)付で競走馬登録を抹消されました。今後は種牡馬となる予定ですが、繋養先は未定です。2016年札幌2歳S(GⅢ)の勝ち馬トラスト(牡7歳/栗東・長谷川浩大厩舎/JRA通算24戦5勝)は、6月24日(木)付で競走馬登録を抹消されました。今後はJRA馬事公苑で乗馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●サルサディオオーネがスーパーキングレディーC(川崎)を逃げ切る

スーパーキングレディーC(JpnⅢ、7月8日、川崎、1600m)は、先手を取った2番人気の大井所属馬サルサディオオーネ(矢野貴之騎手、牝7歳、父ゴールドアリュール)が、3番人気のリネンファッシュを6馬身引き離して圧勝、JpnⅢ3勝目をあげました。フェアリーポルカは4着、1番人気に推されたテオレーマは6着、ウルトラマリンは7着に敗れています。

●優駿スプリントは船橋のワールドリング【各地の主要3歳重賞】

優駿スプリント(6月29日、大井、1200m)は、中団から差を詰めた5番人気のワールドリング(牡、父トゥザワールド)が残り200mを切った辺りで抜け出し、重賞初制覇を果たしました。

●ジャパントダービーにリブレーザ、スマッシャーらが参戦

ジャパントダービー(JpnⅠ、3歳、7月14日、大井、2000m)は、兵庫チャンピオンシップの覇者リブレーザが筆頭格、ユニコーンS優勝馬スマッシャー、関東オークス馬ウエルドーンが続き、他ではゴッドセレクション、ダノンブレット、ロードシュトローム、ロングランの順に有力視されます。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1エクリプスS～3歳馬セントマークスバシリカが快勝

7月3日にイギリスのサンダウン競馬場で行われたG1エクリプスS(3歳上、芝1900m)は、R.ムーア騎手を背に4頭立ての3番手でレースを進めたセントマークスバシリカ(牡3歳、父シユーニ、愛A.オプライエン厩舎)が直線で力強く抜け出して3馬身半差で優勝しました。チャンピオンSやクイーンエリザベスS(連覇)などG1・4勝の7歳馬アデイブが逃げて2着。サウジカップ、G1ドバイシーマクラシックと連勝した4歳馬ミシュリフは2着馬からクビ差遅れての3着でした。初めての古馬混合戦を勝利で飾ったセントマークスバシリカはこれで昨年10月のG1デューハーストS(芝1400m)、今年5月のG1仏2000ギニー(芝1600m)、そして6月のG1仏ダービー(芝2100m)に続くG1・4連勝です。

●G1サンクルー大賞～ブルームが逃げ切ってG1初制覇

フランスの中長距離路線における上半期の一番G1サンクルー大賞(4歳上、芝2400m)が7月4日にサンクルー競馬場で行われ、キーファーズの松島正昭氏がクールモアと共同所有するブルーム(牡5歳、父オーストラリア、愛A.オプライエン厩舎)がC.キーン騎手に導かれて1馬身差の逃げ切り勝ち。自身、そして松島氏にとっても待望のG1初制覇となりました。重賞4勝の牝馬エパイラが2着。昨年のG1凱旋門賞2着馬インスウープは4着でした。